



## 1. 第30回全国大会・開催のご連絡（2022年11月5日(土)）

第30回全国大会は2022年11月5日(土)に、オンラインで開催いたします。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。以下、大会プログラムとなります。

### <受付開始>9:00～ Zoomを用いての開催

- ◆大会参加費：無料
- ◆参加方法：事前に連絡を頂いた方にアクセスコードをお伝えします
- ◆交流会：実施しません

### プログラム

#### <開会式> 9:20～9:30

開会挨拶 本田 正美（全国大会実行副委員長）

#### <午前セッション> \*各発表：30分（発表20分，質疑10分）

##### 9:30～11:30 ①「情報と地域」

発表者	発表者所属	発表題目
糸賀 美夕紀	金城学院大学	本土復帰50年・選挙イヤー・コロナの感染拡大・米軍基地環境汚染問題から見る沖縄の現状とその要因分析
風岡 真白	金城学院大学	学生による沖縄米軍基地訪問調査に関する一考察
西山 みづき	金城学院大学	東日本大震災に於ける復興の地域差～宮城県石巻市、牡鹿郡女川町、東松島市の事例から～
王 一博	慶應義塾大学	デジタル時代のマーケティング戦略と消費者行動の変化

#### <昼食休憩> 11:30～13:10

#### <総会> 13:10～13:40

<午後セッション> \*各発表：30分（発表20分，質疑10分）

13:50～15:20 ②「情報と文化」

発表者	発表者所属	発表題目
原 翔子	東京大学大学院	キュレーションに関する研究の動向—方法論から担い手まで—
戴 裕玲	文教大学大学院	コンテンツにおける中国らしさについて—現代アニメーションにおける表現の分析から—
本田 正美	関東学院大学	官民データ活用推進基本法に見る議員立法への行政府の対応

15:30～17:30 ③「情報と社会」

発表者	発表者所属	発表題目
榎 俊吾	東京工科大学	合理性に代る実務的な意思決定原理ためのモデル化手法について
大嶋 淳俊	宮城大学	企業理念の継承と組織文化の醸成・革新装置～企業記念館から企業内大学まで～
村瀬 孝宏	中京学院大学	シミュレーションのための力学的に安定なポリゴン分割法による3次元建物モデルの自動生成
遠山 茂樹	高知大学	地方都市住民の COVID-19 関連情報入手源と心身ダメージに関する探索的研究 — 高知市住民を対象とする社会調査より

<閉会式> 17:30～17:40

閉会挨拶 須藤 修（学会会長、全国大会実行委員長）

2. 「JICS 便り」名誉会長 片方 善治 — 2025 年国際博覧会（大阪・関西万博）と情報文化学 —

2022 年 4 月に大阪・関西万博の“8 つの「シグネチャー・パビリオン」”が下記のように発表された。（ ）は主な内容。① いのちを知る（生命哲学の提示）、② いのちを育む（命のつながりを意識）、③ いのちを守る（現代アートとコラボ）、④ いのちをつむぐ（食の最先端を提示）、⑤ いのちを拓げる（人の機能や能力の拡張）、⑥ いのちを高める（創造の喜び）、⑦ いのちを磨く（バーチャル空間を利用）、⑧ いのちを響き合わせる（データを活用した社会）、これら 8 つのテーマと内容を見ると、情報文化学会の 3 つの体系（理念系・人間系・施設系）と重なるものがあることを知る。理念系と③、人間系と⑤、施設系と⑦・⑧である。それぞれのパビリオンのプロデューサーが選ばれ展示の計画が進められているという。展示がどのようになるかはともかく、情報文化学会誌や全国大会の発表には、既に③、⑤、⑦、⑧に関する論文が発表されている。これらの発表から私は、展示内容を予想し、この予想と 2025 年の展示とどうつながるか。その日がくるのを待ち遠しく思っている。楽しみでもある。